



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
当院は、平成28年より地域移行機能強化病棟、精神科救急病棟を立ち上げ、皆様のご理解とご協力により、現在のところ何とか順調に推移しております。改めて深く感謝申し上げます。

さて、今、世界は激しく流動化し、人権主義、平和主義、自由・平等の従来の価値観は大きく揺らぎ、人類の歴史は大きな岐路にあります。アメリカ、日本の相対的な弱体化と共に、中国等新興国が台頭し力による現状変更の動きが活発になっています。中国は南沙諸島を埋め立て、軍事基地を建設して実効支配を強め、尖閣諸島には漁船を大挙して送り込む等覇権主義を一層強めており、ロシアはクリミア半島を併合し、北朝鮮は核兵器、大陸間弾道ミサイル開発を押し進め、日本やアメリカに核攻撃の脅しをかける等暴走が止まりません。シリア内戦は収束に向かっているもののテロは世界中に拡散し、欧州では、英国のEU離脱、カタール・ニャのスペインから独立の動き等、世界秩序は大きく揺らぎ、世界全体が寛容さを失い、先の大戦前夜の様な危機的状況に陥っている様に思えてなりません。国内でも政治、経済の混迷は深まり、日産自動車、神戸製鋼の不祥事等、日本の強みだった品質までも信頼を失う事態となっています。この様な激動の時代だからこそ、一人ひとりが目覚め、新しい時代の潮流を創っていかねばならないと感じています。来年は、医療報酬と介護報酬のダブル改定の年となっており、医療・介護の分野にも大きな変化が起きる年ですが、皆様のお力添えを頂きながら、更に地域医療に貢献できるように、職員一丸となって一層精進してまいりたいと思います。今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいきいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛みを涙する」温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます



～デイケア作品「紅葉」～

トピックス

今回は、リワーク、家族支援委員会、A4病棟、褥瘡学会、災害派遣福祉チーム員登録研修報告をご紹介します。

■リワーク（復職支援）のご紹介

リワーク室では、2018年5月から利用者の復職を想定し週5日でプログラム運営をしています。専従スタッフ3名で（看護師、精神保健福祉士、臨床心理士）、心理プログラム（認知行動療法など）、WRAP（元気回復行動プラン）、疾病教室等を実施しています。またグループワークを通じて役割分担を行い、対人スキルの向上を図っていくことを目的として実施しています。さらに復職に必要な個人作業の時間もあります。

個々の利用者の状況に応じて職場訪問を実施し職場環境や雰囲気を知ることにより、利用者の方が職場へ戻るために必要な支援をプランニングすることとしています。

また離職者などへの就労支援もサポートしており、利用者皆さんで仕事に向かって日々頑張っています。



～リワーク専従スタッフ～

●リワークプログラム週間予定表

	月	火	水	木	金
午前	週間予定・目標発表 個別面談 オフィスワーク	心理プログラム	復職セミナー オフィスワーク	各プログラムに参加 個別面談	SCITオリエンテーション 1週間の振り返り
午後	疾病教室 グループワーク	WRAP	オフィスワーク 個別面談	就労セミナー オフィスワーク	セルフマネジメント 自主取組・趣味開拓

■家族支援委員会

家族支援委員会では月に1回、統合失調症の患者様のご家族を対象とした家族教室を開催しております。昨年、複数のご家族から、親亡き後の子どもの地域生活が心配であるとの声が聞かれました。そのため、平成29年8月23日の家族教室において、『親亡き後の子どもの地域生活について』と題して、当事者に講話をしていただきました。講話後、ご家族から「大変参考になった」・「希望や安心につながった」などの声が多く聞かれました。また、「親亡き後の地域生活について、今後も話し合いの場を持ってほしい」との声が多く聞かれたため、今後もこのような当事者からの講話や話し合いの場を企画していきたいと思っております。



～家族教室ーカフェ 絆ーの様子～

■ A 4 病棟のご紹介



病棟師長
小笠原 洋

A4病棟は59床、男女混合の閉鎖病棟になります。慢性期及び亜急性期の患者様を受け入れており救急病棟の後方支援としての機能も併せ持った病棟となっております。

興奮が強い患者様や身体面の観察が必要な患者様にも対応出来るよう日々スキルアップのために積極的に研修会に参加するよう努力しています。

また、今年度は、1年以上の長期入院患者様を積極的に地域移行に結びつけることを目標に掲げ取り組んでおり、そのような患者様（含む児童思春期）に対して個々にあった作業療法プログラム等を取り入れています。さらに家族とも十分コミュニケーションを図り、多職種と連携し地域移行を進めております。

当病棟は「明るく楽しく」をスローガンに掲げ笑顔で看護に取り組んでいきたいと思っております。



～A4病棟スタッフ～

■ 日本褥瘡学会学術集会参加報告



看護師
金子 美樹

平成29年9月14日～15日に開催された第19回日本褥瘡学会学術集会に参加させていただきました。一般演題の発表で、精神科における褥瘡検討の発表があり、「WOCNが入り定期的な講習やスタッフへの指導による予防スキンケアの浸透、知識や技術をもった看護師の病棟移動により、病院内でのスキンケア知識や技術力が高まり良い影響をもたらした」と報告されておりました。当院でもWOCNを中心とし、今以上に褥瘡対策に関してスタッフが感心を持ち、スキルを高めて行けるよう褥瘡委員として、病棟スタッフへ新しい情報を伝えスタッフの意識向上とスキルアップしていきたいと思っておりました。学会への参加は自分自身への刺激となり、今後病棟の実践に活かせる経験となりました。

■ 平成29年度岩手県災害派遣福祉チーム員登録研修報告



精神保健福祉士
早坂 香織

今回災害派遣福祉チーム員登録研修に参加しました。

災害派遣福祉チーム員は避難者の福祉ニーズを把握・スクリーニングのもと、相談対応や避難所等の環境改善・中長期支援への橋渡しを行う事を学びました。災害派遣福祉チーム員（以下チーム員）としての最大の目的は、二次的な被害（状態の重度化、関連死など）を防ぎ、避難状況下においても良好な生活環境を確保するための被災者支援体制の充実を図る事であるとの事でした。

チーム員が医療職と異なるのは生活に視点を置いていることであり、被災された方が孤立しないよう専門性にこだわらずに、「必要とされている活動」を「やれる範囲のことを」・「柔軟に」対応することが基本的な考え方である事を理解しました。

災害はいつ起こるか予測が難しく、要援護者となる方は様々な状況である事が多いので、状況把握からチーム員としてどんな動きをとれるのか、迅速な判断や対応ができるよう考えながら動けるように努力していきたいと思っております。

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

FAX:019-696-4185

相談時間 平日：9:00～16:00
土曜：9:00～12:00

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室・外来師長 吉田とご指名ください。はじめての受診・入院相談を地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：http://www.i-seiwa.com/chikiiryorenkei.html

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	菊地医師 関山医師	八重樫医師	田嶋医師	佐々木医師 石川医師	遠藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木医師 八重樫医師
再診担当	菊地医師	田嶋医師 智田医師	佐々木医師 遠藤医師	智田医師 関山医師	石川医師 八重樫医師	第2・第4 田嶋医師 第2・第4・第5 遠藤医師

診療時間

月曜日～金曜日	9:00～17:00
土曜日	9:00～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会
未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

http://www.i-seiwa.com

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又は盛岡バスセンター（アレヴェール）より乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター（アレヴェール）経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター（アレヴェール）経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



車

- 盛岡駅から車で20分
（国道4号・396号経由 都南大橋過ぎセブンイレブン左折後、500m左側）
 - 東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
（県道36号・国道396号経由 同上）
- ※無料駐車場完備